

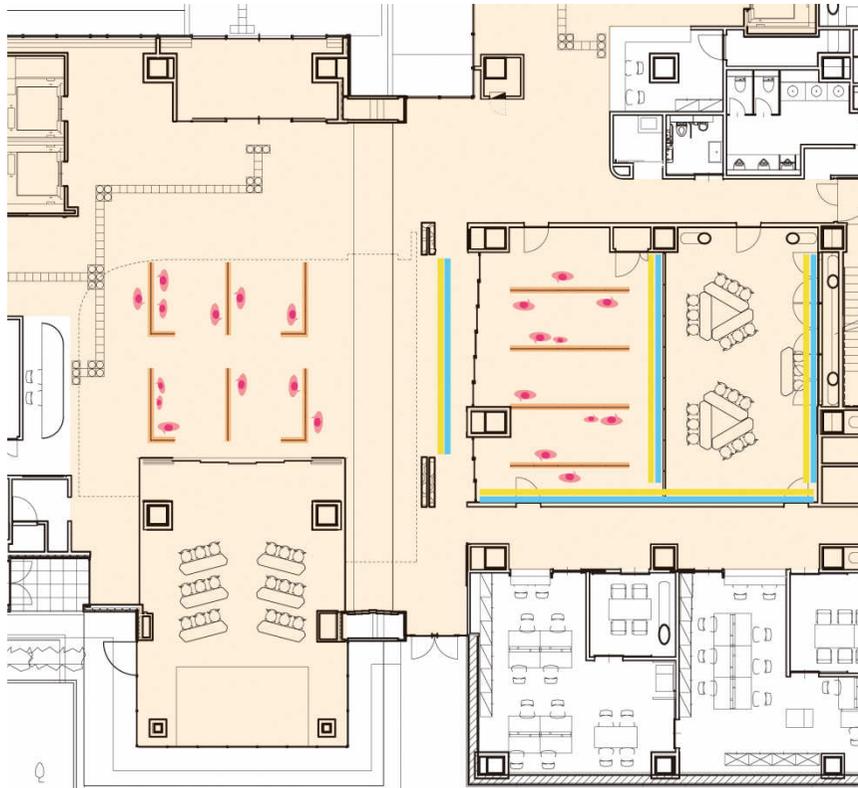
# 実施設計 第2回こがねいミーティング

2020.10.19.Mon

株式会社 佐藤総合計画

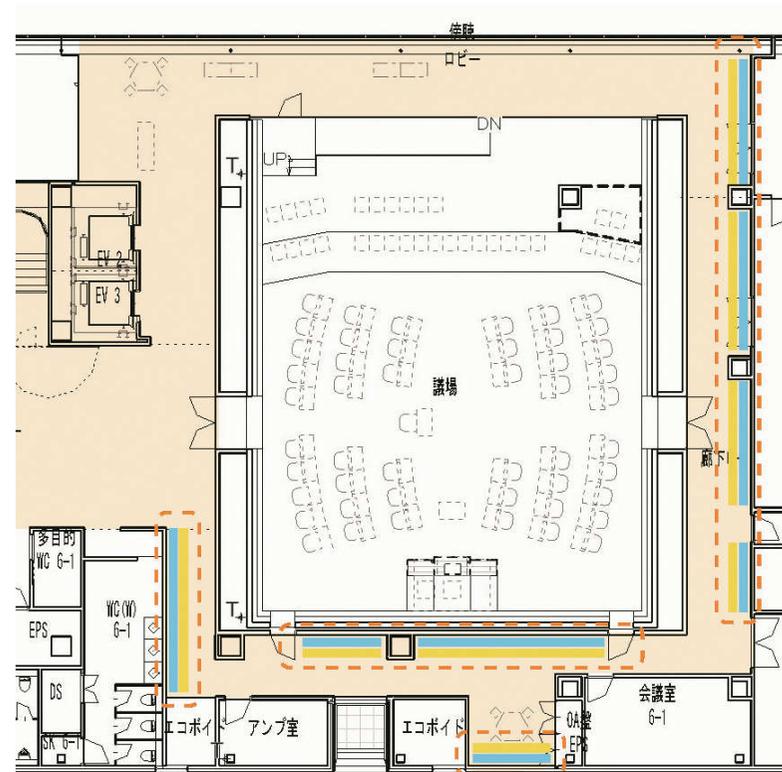
# 1 階 平 面 図

展 示 利 用 時 想 定



展 示 パネル イメージ

# 6 階 平 面 図



展 示 イメージ



# 外構図

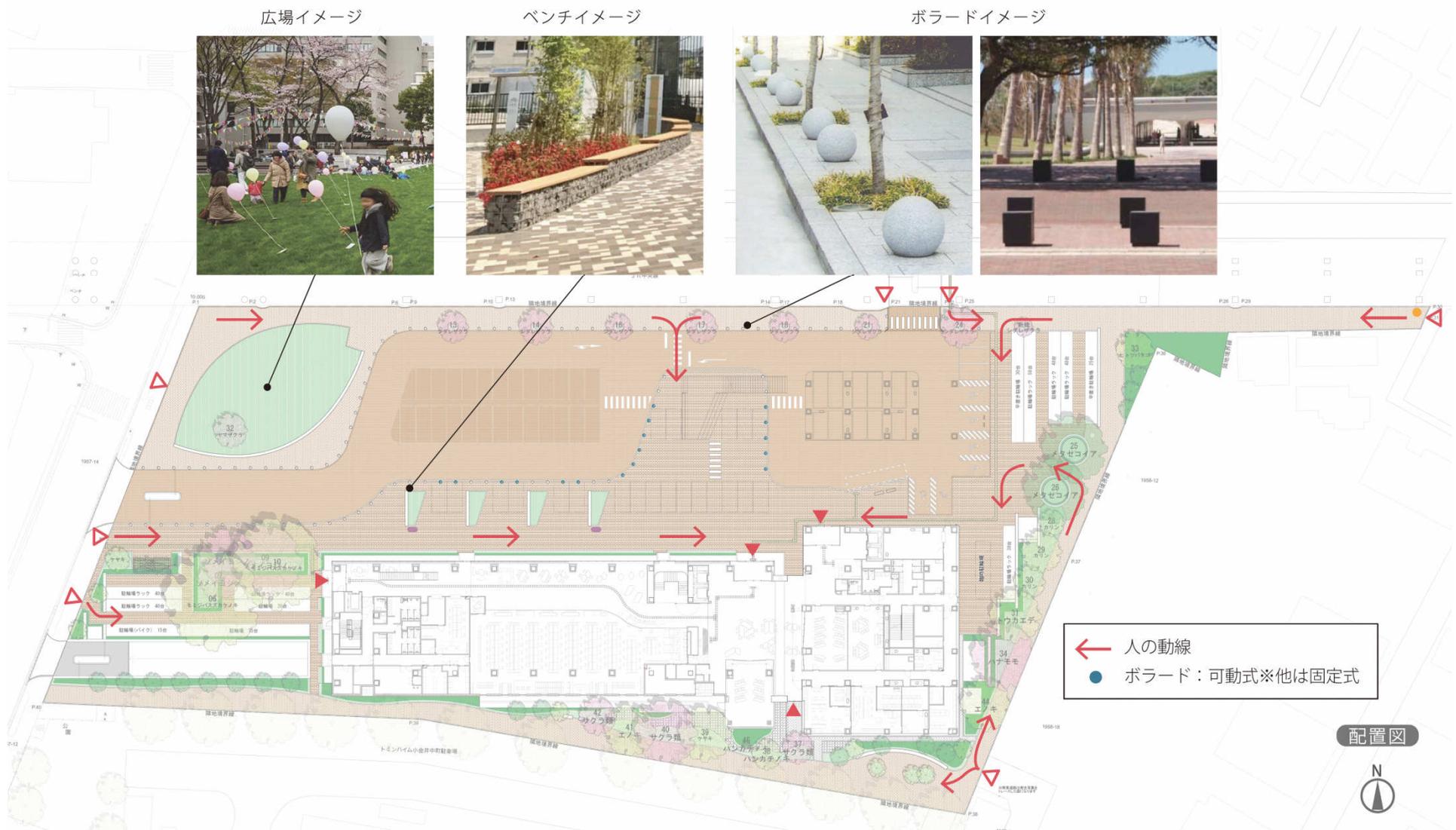
広場イメージ



ベンチイメージ



ポラードイメージ

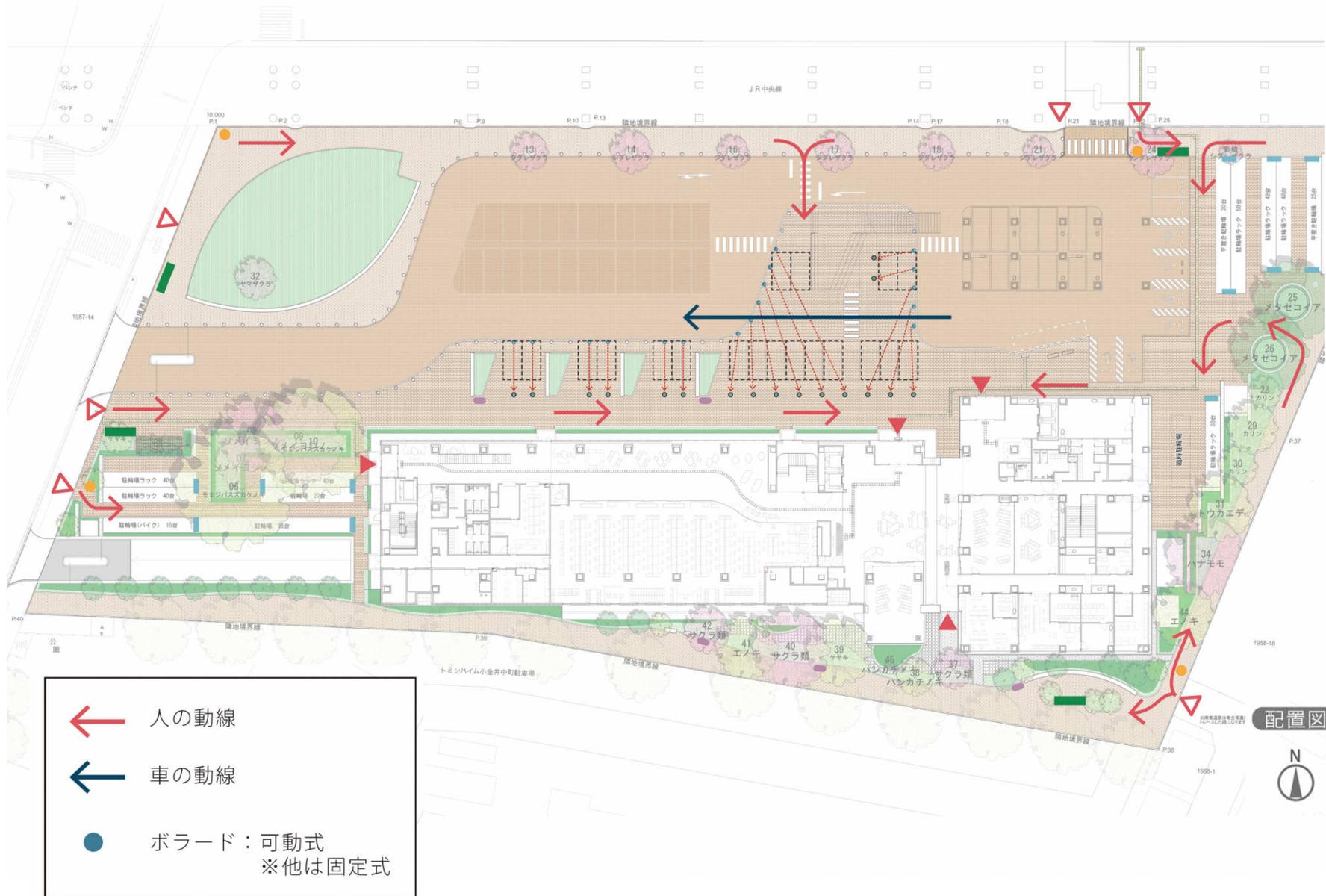


- ← 人の動線
- ポラード：可動式※他は固定式

配置図

N

# 臨時駐車場利用時





# サインの考え方

公共施設のサインは、来庁者がスムーズに施設を利用できるようにする目的があります。

サイン計画で最も重要なことが「何がサインなのか？」を早い段階で来庁者に伝えることです。

ユニバーサル・デザインの原点として、「何がこの施設のサインなのか？」を伝えられるように下記5点に留意した計画とします。

1

文字

来庁される外国の方にとっても快適な施設をめざし、表示言語は可能な範囲で日本語・英語の2カ国語表記とします。

2

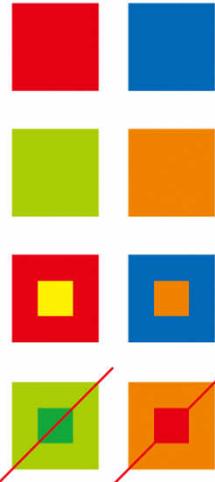
ピクトグラム  
(絵文字)

子どもや高齢者、障がい者、外国人など文字を認識しにくい方にとって有効な手段として、直感的に情報を理解するのに適したピクトグラムを活用します。

3

色

色はできるだけ赤や青といった、言語化できる色を使用し、見にくい組み合わせはできるだけ避けます。また、色覚障害者を考慮し、仮に色が判別できなくても、文字などで補足し機能するサインとします。



4

高さ

高齢者や車いすの方を考慮して、サイン表示の上下の中心は、高さ1500mmの位置に配置します。また、500mm以下の情報はサインとして機能しにくいため、基本的に配置しない計画とします。



5

種類

公共施設に設置するサインは、その性格によって大きく4種類に分類できます。これらのサインを的確な位置に配置して目的地まで導きます。

入口  
Entrance

総合受付  
Reception

駐車場  
Parking



A 総合案内サイン

館内（フロア）の全ての情報を俯瞰的に見ることができる総合案内サイン

B 誘導サイン

利用者を目的地に誘導するサイン

C 定点サイン

部屋名を表示したもの

D その他のサイン

注意喚起のサインや説明を明記したサインなど、目的地に人を導く以外のサイン

# 外構サイン図

掲示板イメージ



環境啓発サインイメージ



駐輪場サインイメージ



配置図



施設案内サイン・掲示板イメージ



注意喚起サインイメージ



# 室内サインの考え方

## A 総合案内サイン

館内（フロア）の全ての情報を俯瞰的に  
見ることができる総合案内サイン



## B 誘導サイン

利用者を目的地に誘導するサイン



## C 定点サイン

部屋名を表示したもの



## D その他のサイン

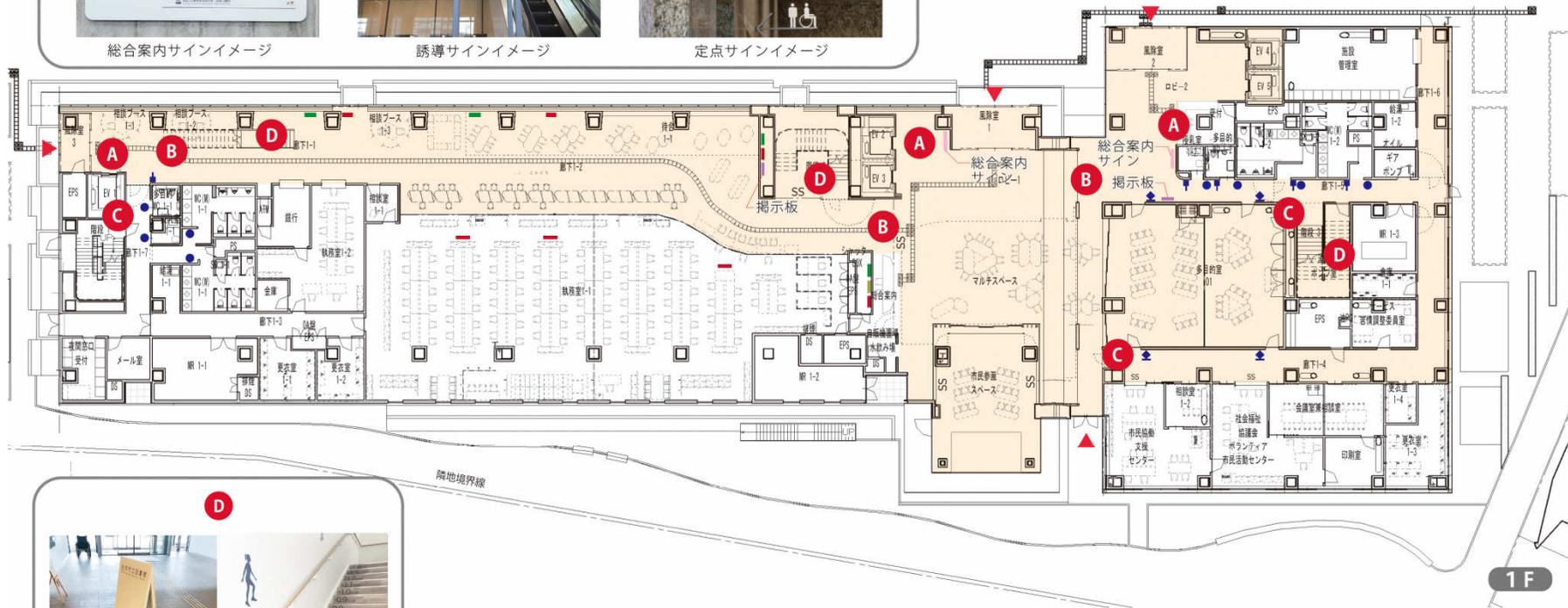
注意喚起のサインや説明を明記したサイン  
など、目的地に人を導く以外のサイン



# 1 階 平 面 図



- 受付状況モニター
- 情報表示モニター
- 本日の予定モニター
- 市民利用ゾーン
- 掲示板
- ■ ■ 定点サイン



# サインイメージ事例



番号による誘導



デジタルサイネージ



# サインイメージ事例

## B 誘導サイン





# サインイメージ事例

## C 定点サイン



# サインイメージ事例

**C** 定点サイン



# サインイメージ事例

## D その他のサイン



# サインイメージ事例

## D その他のサイン



